

客)の誘致に結び付け、4%に上り、東京や富士を訪れた人をリピーターに訪れてみたい日本の観光地を尋ねたところ、北海道の人気は台湾、香港では1位、北京、上海で富士山に次ぐ2位、タイ、マレーシアでは富士山の重点課題にすべきとしている。

## 東京一大 政投銀道支

また、調査対象者全員に訪れてみたい日本の観光地を尋ねたところ、北海道の人気は台湾、香港では1位、北京、上海で富士山に次ぐ2位、タイ、マレーシアでは富士山の重点課題にすべきとしている。

いちはこの会

# 特養併設施設を計画

## 千寿園の移転改築で

社会福祉法人いちはこの会(恵庭市南島松6の4、西部充子理事長)は、養護老人ホーム千寿園に地域密着型特養を併設施設した新たな施設の2014年4月開設を計画している。千寿園の移転改築に伴うもので、ing建築設計で基本設計を進めている。実施設計・監理の委託、主体、設備一括とする建設工事の発注については、それぞれ一般競争入札を行う予定だが、時期などは決まっていな

建設地は千歳市大和4丁目3の10。計画によると、規模はRC造、6階、延べ5467平方メートル。1階はデイサービス(定員35人)、2、3階と4階の一部に養護老人ホーム千寿園(同50人)、5階の一部と6階に地域密着型特

養(同29人)、4、5階の一部にショートステイ(同20人)を設置する内容。千寿園は移転に伴って、定員50人中30人について、介護保険委託サービスの特定施設入居者生活介護の指定を受ける予定だ。千寿園の現施設(富丘

2丁目7の4)は、市が1972年に建設。規模はCB一部RC造、平屋一部2階、延べ1710平方メートル。市は敷地を所有したまま、09年度から同法人に運営を移譲している。移譲の際、市は老朽化する施設の5年以内の移

転改築を条件付けることも、移転用地として取得した大和地区の6243平方メートルの敷地の無償貸し付けなどの支援策を設けていた。移転後の現施設は、同法人で解体、整地することになっている。

億5000万円を見込む。このほど千歳市が募集していた地域密着型特養の整備・運営事業者に選定されたことで、千寿園と特養を併設した新施設の建設が決まった。

## 日本グランデ 丸彦渡辺建設に 分譲MSのグランファアール 札幌ステーションプラザ新築

日本グランデ(札幌市中央区大通西5丁目1の1、平野雅博社長)は、

に依頼し、5日、地鎮祭を行った。

設計は自社。災害時や停電時にも対応できるように太陽光発電リチウム蓄電池システムを採用するほか、電気自動車の充電スタンド・コンセント、ガス、

建設地は札幌市北区北10条西2丁目9の3。JR札幌駅まで徒歩3分の距離にあり、都心へのアクセスに恵まれている。近く着工し、2014年3月下旬の完成を予定している。

分譲マンションのグランファアール札幌ステーションプラザ新築を主体、設備一括して丸彦渡辺建設

規模はRC造、地下1地上14階、延べ4785平方メートル。2LDK26戸、3LDK13戸、4LDK12戸の計51戸を設ける。

319平方メートルの規模で、

ス、訪問介護事業所、居